

低気圧と前線による大雨について(第2報)

(土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒)

令和6年5月28日12時45分

＜ポイント＞
低気圧や前線の影響で、北海道を除く広い範囲で29日(水)にかけて大雨となる所がある。特に、鹿児島県、高知県及び徳島県では28日(火)日中に、岐阜県、愛知県及び静岡県では28日午後、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。

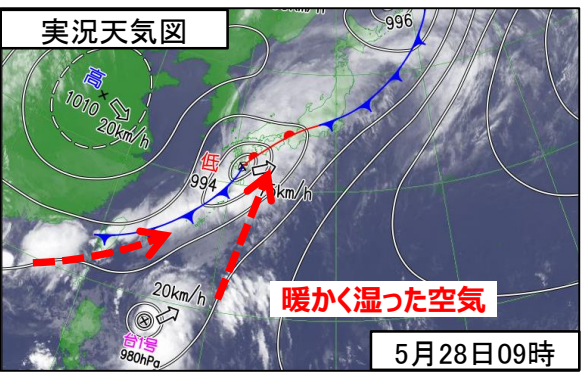
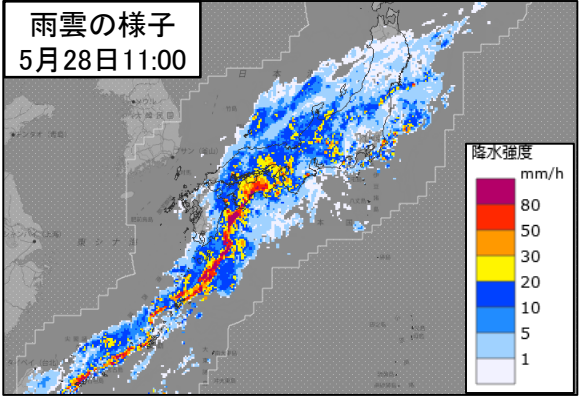
＜概況＞
前線を伴った低気圧が九州付近にあり、29日にかけて西日本から東日本※1の太平洋側を東へ進む。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、大気の状態が非常に不安定となる。

＜大雨＞
西日本では雷を伴った非常に激しい雨※2が降り、大雨となっている所がある。引き続き、南西諸島や西日本では28日、東日本や東北地方では29日にかけて、太平洋側を中心に大雨となる所がある。特に、鹿児島県、高知県及び徳島県では28日日中に、岐阜県、愛知県及び静岡県では28日午後、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。

＜警戒事項＞
土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

＜台風第1号について＞
強い台風第1号は、フィリピンの東にあって発達しながら北東へ進んでいる。29日には沖縄県の大東島地方に接近し、31日(金)には伊豆諸島近海へ進んで、6月1日(土)には日本の東で温帯低気圧になる見込み。大東島地方では29日に暴風や大しけに、伊豆諸島では30日(木)から31日にかけて大しけになるおそれがある。

※1 東日本: 関東甲信地方・北陸地方・東海地方 ※2 非常に激しい雨: 1時間に50mm以上80mm未満の雨

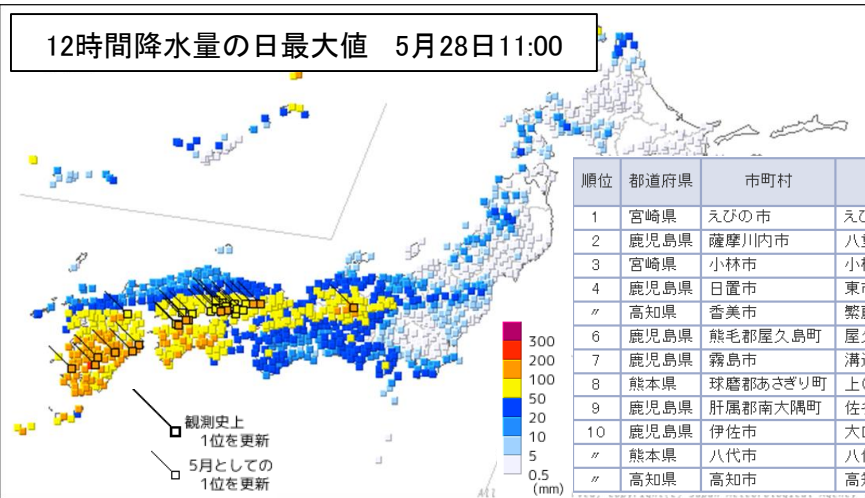


【警戒級となる可能性のある期間】

日 時	28日		29日
	12～18	18～6	6～24
東北地方	大雨		
関東甲信地方	大雨		
伊豆諸島	大雨		
北陸地方	大雨		
東海地方	大雨		
近畿地方	大雨		
中国地方	大雨		
四国地方	大雨		
九州北部地方	大雨		
九州南部	大雨		
奄美地方	大雨		
沖縄地方	大雨		

【大雨の見通し】(単位:ミリメートル)

地域	29日12時までの 24時間雨量
東北地方	120
関東甲信地方	200
伊豆諸島	120
北陸地方	100
東海地方	300
近畿地方	150
中国地方	60
四国地方	120
九州北部地方	およそ50
九州南部	100
奄美地方	120
沖縄地方	80



順位	都道府県	市町村	地点	観測値 mm
1	宮崎県	えびの市	えびの高原(エビノコウゲン)	219.5
2	鹿児島県	薩摩川内市	八重山(ヤエヤマ)	187.5
3	宮崎県	小林市	小林(コバヤシ)	176.5
4	鹿児島県	日置市	東市来(ヒガシイチキ)	176.0
〃	高知県	香美市	繁藤(シゲトウ)	176.0
6	鹿児島県	熊毛郡屋久島町	屋久島(ヤクシマ)	167.0
7	鹿児島県	霧島市	溝辺(ミゾベ)	154.0
8	熊本県	球磨郡あさぎり町	上(ウエ)	150.0
9	鹿児島県	肝属郡南大隅町	佐多(サタ)	148.5
10	鹿児島県	伊佐市	大口(オウクチ)	147.0
〃	熊本県	八代市	八代(ヤツシロ)	147.0
〃	高知県	高知市	高知(コウチ)	147.0

(黄色: 可能性がある、赤色: 可能性が高い)

※5月の1位の値を更新